

ボランティア通信 2019. 10 Vol. 234

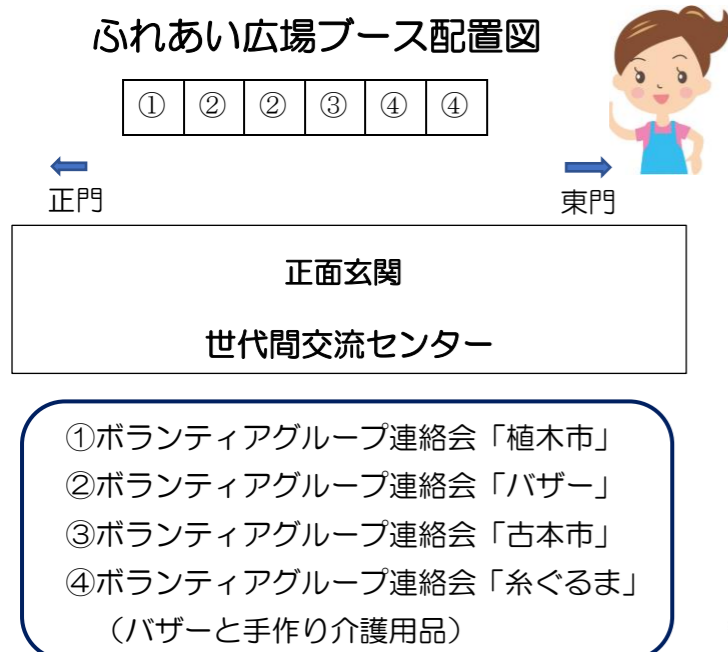


ななかま

発行 交野市ボランティアグループ連絡会
(交野市ボランティアセンター内)
V連絡会 E-mail vltr94@leto.eonet.ne.jp
Vセンター E-mail katabora1994@katano-

ボランティアを
紹介してほしい人
ボランティア活動を
はじめたい人
ボランティアセンター
にお問い合わせください
(Tel 8 9 4 - 3 7 3 7)
(Fax 8 9 1 - 3 3 4 0)

ふれあい広場ブース配置図



今年からふれあい広場出店ブースの配置が全面的に見直されました。その結果、ボランティアグループ連絡会の出店ブースも従来のボランティアセンター前から世代間交流センター前に移動します(左図参照)。



バザー用品・書籍・植木・草花のご提供をお願いします

バザー用品について

ご家庭で眠っている品物のご提供をお願いします。品物には家電商品、レコード、食料品はご遠慮願います。雑貨、台所用品は開封していない未使用品を、衣類はクリーニング後など汚れのない品物のご提供をお願いします。

書籍(古本市)について

書籍につきましては、専門書、百科事典、雑誌、DVD、CD等をご遠慮願います。

植木・草花について

植木・草花のご提供をお願いしますが、搬送はできませんので決められた期日内に持ち込んでください。植木・草花は名前や開花時期、花の色などの情報も添えてください。

品物の持ち込みについて

バザー用品、書籍等は10月31日(木)～11月7日(木)までにボランティアセンター2階フリースペースへお届けください。

植木・草花については11月5～7日(金)の3日間にボランティアセンター1階南側通路にお届けください。

品物の搬入時はボランティアセンター職員に必ず声をかけて下さい。(無断持ち込み厳禁)



昨年の古本市ブースの模様

健康福祉フェスティバルに参加!

健康福祉フェスティバルは、市民の皆様と交流を図り、ボランティアグループ連絡会の活動を広く知っていただく機会です。連絡会活動のPRや各ブースでの活動に積極的な参加をお願いします。

出店ブースの場所が変わります

ボランティア インタビュー78 家村勝子さん(玉手箱)



ボランティアを始められたきっかけは

病気をして回復後「元気な間に何かしなければ・・・」の気持ちにかられて市民交流フェスタに行きました。その時「玉手箱」の楽しそうな様子と「ウェルカム!」の言葉に背中を押されるようにして即入会。早速作業させていただきました。他のグループも考えましたが玉手箱は楽しく活動されている雰囲気が入って12年が経ちました。

どんなおもちゃ作りを

牛乳パックを利用したおもちゃ、新しい素材を考えて作ったおもちゃを持って、子ども相手のイベントに行くと子どもから元気をもらえ、アイデアまでもらうことがありとても楽しいです。子ども相手は楽しく自分に合っている!

お花は大切な友だち

花が大好きです。一年中、庭に花を咲かせていたい。花が枯れると心が痛みます。花に生き返るように声をかけると、心が通じるのを感じます。だから留守をするとき、花のことがとても気になります。長く留守をして家に帰ってきた時、咲いている花を見ると「待っていてくれたの!」とうれしくて感動してしまいます。

活動をしてみて思うこと

メンバーが高齢化して活動する人が少なくなり、依頼に対して同じ人があちこち行くことになり、負担が大きくなっています。人材不足を感じています。

元気の秘訣は?

大きな病気を経験しましたが、心配していても良い結果にならないので、動けるうちは無理のない程度に外に出よう。そして明るい気持ちで過ごすように心がけています。

リーダー会議(9月24日)

- ☆会長挨拶
- ・大阪府市町村ボランティア連絡会 テーマ別研修会報告(2頁参照)
- ・ボランティア講座について
- 11月30日(土) 10時から、ゆうゆうセンター4F多目的ホールで開催、講師は大阪ボランティア協会 常務理事・事務局長の永井美佳氏
- ☆連絡会より
- ・健康福祉フェスティバルについて
- ふれあい広場の出店ブースの場所の見直しと、バザー用品、古本、植木・草花等の提供と搬入について
- ・お願い(1頁参照)
- ・市民交流フェスタの開催について
- 今年度の開催は見送ったが、次年度開催時期については令和3年3月とし、開催場所はゆうゆうセンター4F多目的ホールで準備を進める。また登録ボランティア交流会の開催については、引き続き検討する
- ☆ボランティアセンターから
- ・子どもゆうゆうセンターの駐車について
- ・ボランティアサロン(2頁参照)
- ☆グループ報告(省略)
- ☆リーダー会議終了後、ボランティア実習生、平尾珠恵さんから認知症の方への接し方の講演



少し前の話です。

朝、洗濯物を干しに裏庭に出ると湿ったコンクリートの上にクマ蜂が仰向けで、羽が地面にへばりついて動かない。死んでいるのかと、のぞき込んだらかすかに動く。葉っぱですくって側の植木鉢の草の上に置いてやると、葉っぱについたつゆを舐めたように見えた。

夕方、裏庭に出て植木鉢を見ると、クマ蜂がいらない。どこかへ飛んで行ったのかな・・・よかった! と思っていた。翌日、洗濯物を干していて、ふと空を見上げると、私の頭上3メートルほどのところをクマ蜂がぐるぐると円を描いて飛んでいる。同じクマ蜂だろうか、私に会いに来てくれたのだろうか?

なんだか嬉しくなりました。

まろん

「ボランティアに言葉のチカラを・・・」 キャッチコピーでこんなにかわる事例と実践



講師の尾関栄二氏
社会貢献広告会社(株) ユナイテッド・トゥモロー代表取締役

大阪府市町村ボランティア連絡会テーマ別研修会

9月4日、大阪府市町村ボランティア連絡会と「OSAKAボランティア手帳」のコラボ企画として標題の研修会が開催されました。日常の活動で、ボランティアへの呼びかけやイベントへの協力、活動の魅力の伝え方など「どうしたら興味を持ってもらえるか」との悩みに、テレビやポスターで日常目にするキャッチコピーには、相手の心を掴む言葉の力があります。そのコピーの魅力と可能性について学ぼうというもので、グループワークでは「OSAKAボランティア手帳」のコピーを作り、コピーで表現する楽しさとその魅力を体験しました。

研修会は講師の尾関氏から多くのキャッチコピーが紹介され、良いコピーとそうでないコピーの違いなど具体的な指摘があり、ダメなキャッチコピーは、「事実のみ、言葉が難しい、字が小さい、文章が長い、抽象的で良く分らない、主張が一方的、何にでも使える、使い古された、誤解される、理屈っぽい」等々。いいキャッチコピーは、「わかりやすい、共感がある、おもしろい、時流に合ってる、他にない、相手の身になる」などの共通項に気をつけることが肝要とか。

コピーを作る前にまず自問自答しよう。①何のために、②誰に(中身は同じでも誰に何を伝えるかで変わる)③何を(活動内容? 想い? イベントのお知らせ)④どのように(友だちのように、明るく、楽しく、まじめ)⑤どこで(手渡し、インターネット、ポスティング)などを学びました。今後、広報活動等の面で活かしていこうと思う。(K記)

10月は高齢者疑似体験

ボランティアに関して、知る、学ぶ、交流する会を、毎月ひらいています。10月はボランティア紹介と高齢者の加齢に伴う身体機能の変化した状態を疑似体験します。

「どのような活動があるの?」
「今は体力に自信があるけど、老後はどうなるのかな」
「高齢者と接するときどう気をつけたらいいの」
活動において関わることの多い高齢者の立場に立つことの大切さ、重要性を学び、サポートするノウハウを学びませんか。

とき 10月30日(水) 13時~15時
ところ 交野市ボランティアセンター

内容 交野市内のボランティア活動情報の紹介& 高齢者疑似体験
対象 交野市と周辺在住、在勤、在学の方
定員 20名
参加費 無料
申し込み ボランティアセンターへ前日まで

ボランティアサロン

11月は「だれでもできる! おしゃべりボランティア」

主に高齢者を対象としたお話し相手のボランティア「陽だまり」の活動紹介傾聴のノウハウについて学びます。

資格も経験も必要ありませんので、お気軽にご参加ください。

講師 鴨志田 五男氏
とき 11月13日(水) 13時~15時
ところ 交野市ボランティアセンター(1階)
対象 交野市と周辺在住、在勤、在学の方
参加費 無料
申し込み ボランティアセンター

OSAKAボランティア手帳 申し込みご案内

使用期限 R1.12~R3.3までの2年間
価格 400円
グループ所属 グループリーダーへ支払い
個人登録の方 ボランティアセンターへ
代金は受取り時に支払い
納品 11月下旬ごろ
締め切り 10月29日(火) 必着

手話学習に効果を発揮!

さつき

赤い羽根共同募金助成金でプレイヤーを購入しました。毎週金曜日の例会等で活用しています。プレイヤーを使ってDVDの映像をプロジェクターで拡大して視聴しています。これまでと違って情報提供がよりスムーズにできるようになりました。防災に関するものや、手話語り、手話の絵本語りなどのDVDで災害時の情報提供や手話学習に役立てています。準備に少し時間がかかりますが、会員が操作に慣れ親しめる



拡大画像をプレイヤーで視聴



秋の夜長を彩る虫たち



よう、機器に色別のシールを貼るなどの工夫をして、会員相互の研鑽に努めています。共同募金の助成には大変感謝しています。今後もプレイヤーを大切に活用してまいります。

暑い夏が終わり、涼しくなると聞こえてくるのが虫の声。
「ああ、もう秋なんだな」と実感するとともに寂しい感じもしますよね。ところがこれは日本人独特の感覚で西洋人にはないようです。

俳句で「虫」といえば秋の季語で、「虫しぐれ」とは秋の草むらでたくさんの虫が競うように鳴いているさまをいいます。その種類は多いのですが、鳴き声とともにいくつかの

代表的なものをあげると、スズムシ(リーニン)、マツムシ(チンチロリン)、コオロギ(コロコロコキリキリキリキリ)、アオマツムシ(リーリー)、カナタタキ(チンチン)、クツワムシ(ザー・ガチャガチャ)、さて、いくつ聞いたことがありますか? 気になる方は図鑑で調べるのも一興、秋の夜長を堪能してください。

五十音は、日本語の基本的な音節を、ア行から順番に並べたもの。しかし数えてみると、ひらがなもカタカナも、仮名は46文字しかない。それなのに、なぜ五十音というのだろうか?

仮名は46文字しかないのに どうして「五十音」?

それは江戸時代に作られた「五十音図」が、5段×10行できており、全部で50の桁目があったから。以来、仮名全体を「五十音」と総称するようになり、現在まで使われている。

毎週の例会でプレイヤーを使っている手話学習の様子

